

読み書きが困難な児童生徒に代替手段としてのタブレットPCの活用（例：手書きの代替としてキーボード入力）を検討していますが、本人が拒否している状況です。どのように対応すればよいでしょうか？

▶どんな意見が出されましたか？



発想の転換で、学級全員で代替手段としてのタブレットPC活用を試してみます。



「みんなと違う使い方は嫌だ」という本人の意思を尊重します。



面談等の機会を通して、丁寧に対話を続け、本人・保護者の理解を得られるよう努めます。



▶ワンポイント解説



- 保護者と連携して、まずは家庭学習で試してみ、読み書きが困難な児童生徒本人がタブレットPCを活用することで「学びやすさ」を実感できるようにします。

(参考) 以下のURLをクリックすると動画が視聴できるGoogleフォームのWebページに移動します (Internet Explorer以外のブラウザをご利用ください)。併せて、簡単なアンケートへのご協力をお願いいたします。

- ▶ 音読の宿題でのタブレットPC活用
<https://forms.gle/AKribdZzImNjoxUBA>
- ▶ 漢字学習でのタブレットPC活用
<https://forms.gle/LNwnjDrBhrjLyWYi7>
- ▶ 絵日記や作文でのタブレットPC活用
<https://forms.gle/BaeBYJ8litYurH9t5>



- クラス全員に代替手段としてのタブレットPCの使い方を紹介して、みんなで試しに使ってみて、学習しやすかった人には家庭学習や授業でも同様の使い方を認めるのもよいでしょう。それによって、読み書きが困難な児童生徒が受け入れやすくなります。